



広報 ふじ

平成28年

5 | 20 No.1124



もくじ

- ② 富士市事前都市復興計画
- ④ 第3次富士市行政経営プラン
- ⑥ 指定難病などに関する支援制度
- ⑦ 富士市インターンシップ支援事業
- ⑧ 届きましたか?がん検診等受診券
- ⑨ フッ化物塗布・フッ化物洗口を!!
- ⑩ 景観の日／在宅高齢者実態調査
- ⑪ 4月のできごと ⑫ 暮らしのたより
- ⑬ 6月のカレンダー



4月23日 「第14回 あっぱれ富士」
よさこいパフォーマンス (中央公園)

富士市事前都市復興計画を 策定しました

市は、平成26～27年度にかけて「富士市事前都市復興計画」の策定を進めてきました。今回は、完成した計画の概要を紹介します。

富士市事前都市復興計画とは

本市では、南海トラフを震源とする巨大地震の発生により、最大規模で、死者約140人、建物の全壊約6180棟という、甚大な被害の発生が危惧されています。

防災・減災対策はもちろんのこと、復興への取り組みも大きな課題です。

このことから、発災後、迅速かつ着実に復興できるよう、あらかじめ復興の方向性や進め方などを定めた「富士市事前都市復興計画」を策定しました。

策定に当たり、学識者や市民の代表で組織する市民懇話会で話し合いを重ね、幅広く意見を取り入れました。

この計画は、復興まちづくりの方向性を示す「復興ビジョン編」と、復興の進め方を示す

「復興プロセス編」で構成されています。



復興ビジョン編

発災後の復興まちづくりの理念や目標について示したものです。

基本理念

災害発生後も住み続けたいと思えるまちづくり

課題ごとの目標

①市街地の復興

災害に強い、安全・安心な市街地の早期形成を実現します

②住環境の復興

地域のつながりに配慮した住まいの確保など、良好な住環境の形成を実現します

③産業の復興

事業者の事業継続及び産業活動の早期再開を実現します

④復興の体制など

市民・事業者・行政の協働による復興まちづくり体制を構築します

復興プロセス編

発災後の復興の取り組みの中で、市民・事業者・行政のそれぞれの役割について、項目別に時間軸に沿って示したものです。

復興まちづくりの流れ

地震などにより大きな被害が発生した場合、本格的な復興までには多大な時間を要するため、発災後の時間的経過に伴う4つのステップを設定し、そのときの状況に応じた復興まちづくりを進めていきます（左上図参照）。

協働による復興まちづくりの体制

復興後、同じ被害を発生させないためにも、地域が一体となった復興まちづくりを進める必要があります。そのためには、地域住民の復興への意欲と合意形成が不可欠であり、地域の復興まちづくりの方針などを検討するための組織づくりが重要です。



平常時から各地域で、本計画を活用した講座や訓練の実施を通じて、復興まちづくりに対する理解を深め、復興の進め方などを共有することで、発災後、迅速かつ着実な復興まちづくりを進めることができます。

震災の教訓

復興まちづくりを着実に進めるためには、過去の震災の教訓を十分に生かすことが重要です。

【市街地】

●津波の被害が甚大な地区で高台・内陸移転を検討した際、移転先の用地確保や住民の合意形成に多大な時間を要した

【住環境】

●仮設住宅スペースが限られたことなどにより、地域住民の住居がバラバラになり、地域コミュニティの維持が困難になった

●仮設住宅を建設した学校では、児童生徒の教育や運動の場が確保できないなど、教育環境の悪化を招いた



【産業】

●仮設商店街の設置に時間を要し、市民が生活用品を買うための店舗が不足した

●行政の復興方針が定まるまで自主再建が進まず、被災地外への工場などの移転や労働者の流出が進んだ

【復興の体制など】

●行政主導により復興計画を策定したため、住民の意向を反映しきれず、住民の不平不満が多数発生した

【復興まちづくりの流れ】

2 年

6 か月

おおむね 2 か月

発災

【ステップ 4】
本格復興期

【ステップ 3】
復興始動期

【ステップ 2】
応急復旧期

【ステップ 1】
緊急対応期

復興事業と一般施策を展開し、目指す都市像に向けた取り組みが進められる

道路整備や生活再建支援など復興事業が進められる

仮設店舗の設置や被災した道路の整備などが進められる

避難所の設置や仮設住宅の整備、ライフラインの復旧が進められる

意向調査の実施
復興事業計画の見直し

復興まちづくり計画の策定
まちづくりルール策定の策定
復興事業計画の策定
調査・測量・設計
基盤整備、面的整備の開始

復興計画の策定
第二次建築制限
復興まちづくり準備会の設置
復興まちづくり協議会の設置
意向調査

被害確認
復興方針の策定
復興地区区分の設定
第一次建築制限
意向調査

市街地の復興

仮設住宅の撤去

復興公営住宅の整備
自宅の再建
復興公営住宅への入居・説明会

避難所の閉鎖
教育施設の整備
説明会・意向調査

避難所などへの避難
被害確認 被災証明
意向調査 応急修理
仮設住宅の整備・確保
授業の再開
仮設住宅への入居・説明会

住宅などの復興

仮設施設の撤去

施設の再建
通常業務の再開

福祉避難所の閉鎖

被害確認
福祉避難所の設置
巡回訪問などの実施
応急修理
仮設施設の確保
サービスの一部再開

医療・保健・福祉の復興

仮設店舗・事業所などの撤去

店舗・事業所などの再建
本格営業（操業）の再開

仮営業（操業）の開始
雇用の確保

被害確認
意向調査
応急修理
仮設店舗・事業所などの確保

復興 商業・工業の復興

本格的な操業の再開

事業の共同化
従事者の確保
農林漁業施設の整備

事業の共同化の検討
一部操業再開

被害確認
農林漁業施設の応急復旧
意向調査
機材などの確保

復興 農林漁業の復興

住み続けたいと思えるまちへ

問い合わせ 都市計画課

☎(55)2786 ☎(51)0475

✉tosukei@div.city.fuji.shizuoka.jp



市民懇話会座長（常葉大学教授）
池田 浩敬さん

住宅の安全性と被害想定の確認を
熊本地震の被害を見ると、個々の住宅の耐震化の必要性を改めて認識させられました。今回の地震では、1回目の地震とその後の余震により、居住者があらかじめ別の場所へ避難していたときに最も大きな揺れに見舞われたため、住宅被害の甚大さに比べ、人的被害が少なかったという側面がありました。住宅は、人々の生活を支える最も大切なインフラであり、これを機に改めてご自身の住宅の安全性を確認し、必要な対策を検討していただきたいと思っています。また、備えるべきは揺れによる建物倒壊だけではなく、富士市では津波や土砂災害などによる被害も想定されています。まず、自分の住んでいる地域にどのようなリスクがあるのか、県が公表している被害想定などを確認することから始めていただきたいと思っています。

第3次富士市行政経営プラン

を策定しました

問い合わせ 行政経営課

☎(55)2719

FAX(53)6669

E so-gyousei@div.city.fuji.shizuoka.jp

市は、平成18年3月に「富士市行政経営プラン」、平成22年4月に「第2次富士市行政経営プラン」を策定し、行政改革や市民サービスの向上に取り組んできました。

これらの取り組みをさらに進めていくため、新たに平成28～32年度を計画期間とする「第3次富士市行政経営プラン」を策定しました。今回は、その概要についてお知らせします。

行政経営プランとは

その時々々の行政課題や社会経済環境の変化に的確に対応し、将来を見据えた行政経営を行うため、市役所の変革の方向性を示すものとして策定するものです。

第3次富士市行政経営プランは、市ウェブサイトでからごらんいただけます。

※くらしと市政→市政情報→行政経営プラン→第3次行政経営プランの概要

「第2次行政経営プラン」の取り組みの主な成果

市政の推進に最も適した職員定数の管理権限移譲などにより、市の業務量が増加している中で、可能な限り職員定数の減員に努めてきました。

安定した健全財政の持続

計画期間内において、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で公表が義務づけられている健全化判断比率は、早期健全化基準を大幅に下回り、健全な財政状況を保っています（平成26年度決算）。

公共施設マネジメントの推進

平成26年3月に「富士市公共建築物保全計画」、平成27年4月に「富士市公共施設マネジメント基本方針」を策定し、今後の公共建築物の総量削減の目標値を定めました。

市民との協働による活力ある地域づくりの推進

まちづくり活動のさらなる活性化を図るため、平成24年3月に「富士市まちづくり活動推進計画」を策定し、平成26年度には各地区に「まちづくり協議会」が設置されました。

情報化の推進

システムの更新に係る経費節減を図るため、富士宮市と共同で電算システムを調達し、運用することとしました。10年間で約15億円のコスト削減効果が見込まれます。

行政評価を活用したマネジメント改革

「第五次富士市総合計画」の体系に合わせて事務事業を整理し、行政評価と総合計画の進行管理を結びつけました。

指標

本プランの実績を評価する上で、3つの数値指標を定めました。

【指標1】 財政指標

財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」、地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や、将来支払っていく可能性がある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す「将来負担比率」の2つを指標とします。

※目標値はいずれも現状値より悪化しています。

財政指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
経常収支比率	80.5%	82.0%
将来負担比率	60.2%	75.0%

これは、今後予定しているごみ焼却施設の更新や、それに伴う基金の取り崩し、社会保障経費の増加や市税収入の減少などから悪化は避けられず、悪化したとしても、この数値におさめたいという目標値です。

第3 次行政経営プランの体系

基本理念に基づき、3つの重点項目を設定しました。重点項目を効果的に推進するために主要事項を定め、その下層に46の取組事項を実施計画として定めています。各実施計画は、年度における到達目標を定めて、実効性の確保に努めます。

【基本理念】

自らを変革し、新たな価値を創造し、
明確な使命と責任を持って 市民満足度を最大化する行政経営

【重点項目】

経営資源の確保

将来にわたって安定的な市政運営を持続させるためには、時代にあった多様で積極的な施策展開が求められますが、そのためにはヒト・モノ・カネといった経営資源がなくてはなりません。限られた経営資源を選択と集中によって適切な施策に投入することはもとより、これまで以上に経営資源そのものを確保する取組を加速させる必要があります。

行政サービスの向上

地方分権の推進などにより、進むべき方向をみずから選択する自由度が増しています。目まぐるしく変わる情勢を見極め、その中で適切なサービスを提供し続けることが「住みたいまち」として選ばれることにつながります。25万人都市として果たすべき役割を堅実に行之、さらに市民生活に寄与するサービスを高め、市の魅力を向上させていきます。

組織の活性化・適正化

市民満足度を向上させるためには、職員一人ひとりが能力を十分に発揮し、最少の経費で最大の効果を生み出すことが必要です。そのために、職員がモチベーションを高く保てるような開かれた職場環境を形成するとともに、高い規範意識を持ち、市民の福祉向上のために困難な業務にも果敢に挑むプロフェッショナルな職員を育成する職場風土づくりを行っていきます。

①業務執行体制の最適化

定員適正化計画に基づく定員管理、業務の一元化・集約化など

②民間活力導入の推進

公共サービスの民営化 など

③公共施設マネジメントの推進

公共建築物の保有量の削減など

④新たな収入源の確保

広告掲載事業の拡充 など

⑤安定した健全財政の維持

未利用財産の処分・利活用、公会計制度改革の推進 など

①市民の利便性の向上

市民協働事業の推進 など

②ICTの有効活用によるサービス向上

個人番号カードを活用したサービスの拡充 など

③大都市制度、広域連携による都市機能の強化

中核市制度への対応、周辺自治体との連携強化

①人事・給与制度の適正化

ワークライフバランスの推進、給与制度等の適正化 など

②民間の人材活用策の検討

市民参加機会の拡大、審議会等のあり方の整理 など

③業務の信頼性・継続性の確保

業務継続計画の策定、情報セキュリティの強化 など

④外郭団体の見直し

外郭団体のあり方の整理

【指標3】 職員数
基準となる職員数は、公営企業会計に属する職員を除いた平成27年4月1日現在とし、目標値は平成33年4月1日の職員数とします。
※臨時職員には、年間を通して雇用されない人や、勤務が週3日以内もしくは1日6時間未満の人は含みません。

	H27 (現在)	H33 (目標)	増減
正規職員	1,807人	1,720人	-87人
臨時職員	884人	829人	-55人

	現状 (H26)	目標 (H32)
市民が参加してまちづくりを進めていると思う市民の割合	43.5%	70.0%
市役所が時代の変化に対応した施策を展開していると思う市民の割合	38.1%	65.0%
納めた税金が有効に使われていると思う市民の割合	35.5%	60.0%
市役所の窓口は対応がよいと思う市民の割合	71.5%	80.0%
市民に開かれた信頼ある市政運営がなされていると思う市民の割合	53.8%	70.0%

【指標2】 市民満足度
「第五次富士市総合計画」の第7章「都市経営（市民と創る新たなまち）」の5つの節に設けている満足度指標が、目標値を達成することを指標とします。

指定難病などに関する支援制度 についてお知らせします

平成27年1月から「難病の患者に対する医療等に関する法律」及び「児童福祉法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、症例数が少なく原因不明で、治療方法が確立していない疾病を抱える患者に対する医療費助成の対象が拡大しています。

今回は、指定難病などに関する支援制度についてお知らせします。

医療費助成（県が認定・支給）

「指定難病」「特定疾患」「小児慢性特定疾病」の認定を受けるには、疾病ごとに認定基準があります。主治医とよく相談してから富士保健所へ申請をお願いします。なお、症状が一定の基準を満たさない場合、対象疾病に該当していても認定されない場合があります。

対象疾病一覧や、医療費助成の制度及び申請方法など詳しくは、富士保健所に問い合わせるか、県ウェブサイト（<http://www.pref.shizuoka.jp/>）をらんぐださい。

「指定難病」とは

「難病医療法」に基づき、国が指定する306疾病で、指定難病と認定された場合、県から「特定医療費（指定難病）受給者証」が発行されます。

「特定疾患」とは

指定難病から外れた3疾患及び県が独自に指定する3疾患で、特定疾患と認定された場合、県から「特定疾患医療受給者証」が発行されます。

「小児慢性特定疾病」とは

子どもの慢性疾病のうち、国が指定する704疾病で、小児慢性特定疾病と認定された場合、県から「小児慢性特定疾病医療受給者証」が発行されます。

問い合わせ 富士保健所

●「指定難病」「特定疾患」について

医療健康課 ☎(65) 2659

●「小児慢性特定疾病」について

福祉課 ☎(65) 2654

療養扶助費（市が支給）

対象／「特定医療費（指定難病）受給者証」「特定疾患医療受給者証」「小児慢性特定疾病医療受給者証」の交付を受けた人
支給金額／
一律支給分

入院支給分

- 1万円（受給者証の有効期間内1回）
- 1か月の入院日数が15日以上
月に1万円
- 1か月の入院日数が14日以下
月に5000円

そのほか、「難病患者介護家族リフレックス事業」「小児慢性特定疾病日常生活用具給付事業」を行っています。詳しくは、保健医療課にお問い合わせください。

問い合わせ 保健医療課

☎(55) 2739 ☎(53) 5586

✉ho-iryuu@div.city.fuji.shizuoka.jp

障害福祉サービス

障害者総合支援法の対象となる疾病に該当する人は、障害者手帳を取得できない場合などでも、必要と認められた支援が受けられます。対象となる疾病及び支援について詳しくは、障害福祉課にお問い合わせください。

支援事業／障害福祉サービス、障害児通

所支援、障害児入所支援、相談支援、補装具及び地域生活支援事業

問い合わせ 障害福祉課

☎(55) 2761 ☎(53) 0151

✉fu-yougai@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市難病団体連絡協議会

患者及び患者家族、賛助会員によって構成された会です。難病の患者と、その家族がよりよい生活を送ることができるよう、さまざまな活動により支援しています。

【活動内容】

- 電話、面接による相談（無料）
- ※秘密は厳守します。
- とき／毎月第1・3水曜日 10～15時
- ☎(64) 9045
- ところ／フイランセ東館3階福祉団体活動室

- 難病患者総合相談会の開催（毎年6月に開催。今年度については左記参照）
- 会員同士の交流及び他団体との交流
- 医療講演会の開催 など

問い合わせ

富士市難病団体連絡協議会

会長 泉 清順 方

☎・☎(61) 8749

難病患者総合相談会を

開催します（無料）

専門の医師と関係機関の職員が、病気の悩み、生活・介護の相談などに応じます。

とき／6月12日（日）

13時～15時30分

ところ／フイランセ

申し込み／当日直接会場へ（託児あり）

問い合わせ／富士市難病団体連絡協議会

秋山 方へ

☎090-8737-7952

学生の皆さんへ

あなたのインターンシップを
応援します！

「富士市インターンシップ支援事業」

市内事業所と学生などの雇用におけるミスマッチ（求職・求人のニーズの不一致）、富士市の将来を担う若い人材不足の解消を図るため、インターンシップや就職活動に対する支援を行います。

問い合わせ

富士地区UJIターン促進協議会事務局(商業労政課内)

☎ 55-2778 ☎ 51-1997

✉ sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

インターンシップ受け入れ事業所

NO	事業所名	受入業種
1	(株)アイ・ブロード	人材派遣業
2	(株)井出組	建設業
3	岩本山かりがね果園 (佐野宏一郎)	農業
4	(株)エンチャー	小売業 (ホームセンターなど)
5	特別養護老人ホーム 鑑石園	介護・老人ホーム
6	(株)昭和自動車学校	自動車教習所
7	学習の窓口 スマートメイン	学習塾 (そろばん・暗算)
8	小泉アフリカ・ライオン・サファリ(株) (富士山こどもの国)	サービス業 (イベント・動物管理)
9	(株)ダイワ・エム・ティ	製造業 (自動車開発)
10	(株)高田企画	飲食業
11	東名電機(株)	製造業 (電気機器)
12	(株)ノダ 富士川事業所	製造業 (木材・木製品)
13	富士川まちづくり(株) (道の駅 富士川楽座)	サービス業
14	富士信用金庫	金融業
15	(株)富士ホンダ (Honda Cars 富士東)	小売業 (自動車)
16	(株)堀内電機製作所	製造業 (電気機器)
17	(株)ホンダクリオ富士 (Honda Cars 富士中央)	小売業 (自動車)
18	(株)マキヤ	小売業 (ホームセンターなど)
19	(有)メイプル	保険薬局
20	医療法人財団 百葉の会	介護
21	(株)山十佐野製作所	製造業 (製缶・板金)
22	NPO 法人 ゆめ・まち・ねっと	市民活動 (子ども・若者支援)

(5月9日現在 22事業所。現在受け入れ事業所受付中)

※詳細・最新情報は、市ウェブサイトをごらんください。

インターンシップに参加する 学生などを募集します

インターンシップとは、学生などが、就業体験を行うことができる制度のことです。参加できる事業所は、左表に掲載の市内事業所です。

事業の対象となる学生など

大学生(学部生・院生)・短大生・専門学校生・高等専門学校生・高校生

申込方法/月々金曜日の8時30分~17時(祝日は除く)に電話で申し込むか、「富士市インターンシップ支援事業申込書」(市ウェブサイトでダウンロード可)に必要事項を記入し、ファクス・Eメールで商業労政課へ

※くらしと市政くらし・手続・就職・労働
↓富士市インターンシップ支援事業

県外からのインターンシップ参加者に 補助金を交付します

交付対象

県外居住者のうち、期間3日間以上のインターンシップ参加学生など

①旅費(交通費)

交通運賃 鉄道賃(特急料金含む)・航空賃・高速バス賃

範囲 居住地の最寄り駅・空港・停留所からインターンシップ実施事業所の最寄り駅・空港・停留所までの往復間

交付額 実費のうち、1人当たり1万円を上限に交付

②宿泊費(滞在費)

施設 市内の宿泊施設

交付額 実費のうち、1人1泊当たり2000円、5泊を上限に交付

※申請方法など詳しくは、お問い合わせください。



富士市事業所&市内紹介バスツアー

学生などを対象に、富士市内の事業所の紹介・見学と、シティーセールズを行うバスツアー(参加費無料)を実施します。地元企業出展イベントへの参加体験ツアーや、合同企業説明会への参加ツアーなども予定しています。

※詳細が決定次第、市ウェブサイトなどでお知らせします。



富士地区UJIターン促進協議会「中小企業の人材確保に向けたUJIターンの促進」を協議するため、平成26年度に設置しました。昨年度からインターンシップ支援事業を運営しています。

届きましたか？

「がん検診等受診券」



4月末に各家庭に「がん検診等受診券」を発送しました。黄色の大きな封筒に、家族分の「受診券」と「検診ガイド」が入っていますので、皆さん、この機会にぜひ受診しましょう。

「がん検診等受診券」を使って
検診を受けましょう

受診期間／平成29年2月まで

市の検診では毎年約1000人ががんが見つかり、早期発見・治療に結びついています。

がん検診等受診券は、対象者1人につき1枚発行されます。受診券が届いたら、自分の受診可能な検診を確認し、「検診ガイド」で検診の実施医療機関や集団検診の日程を調べて、検診を受けましょう。受診券がないと検診を受けられませんが、紛失しないようにしてください。

★男性35歳以上、女性20歳以上。

※過去3年間に市の検診を受けていない75歳以上の人が受診を希望する場合は、健康対策課にご連絡ください。

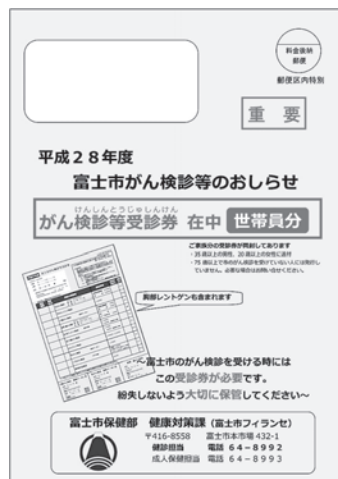
※胸部レントゲン検診もこの受診券が必要です。

市独自のお得な検診があります

がんドック検診（複数のがん検診のセット検診）と胃がんリスク検診（血液でピロリ菌感染などを検査）は、市独自の検診です。受診可能な年齢が決まっていますので、対象の人はこの機会にぜひ受診してください。



▲「検診ガイド」（左）と「受診券」
※受診券は家族分が同封されています。



▲「検診ガイド」と「受診券」
が封入されている封筒

問い合わせ 健康対策課
TEL (64) 8992
FAX (64) 7172

受けやすい検診です！

①費用の一部補助
検診料金の一部を市が補助しています。自己負担額は2〜3割程度です。

②選べる検診場所

検診を受ける場所は、市内の約100か所の医療機関やまちづくりセンターなどの会場から選択できます。

③一度に複数の検診を受けて時間短縮

胃がん・大腸がんのセット検診や、がんドック検診など、一部の医療機関などでは複数の検診を一度に受けられます。

④仕事帰りや子育て中の人でも受けやすい

夕方や日曜日に受診できる結核肺がん検診や、託児つきの休日レディース検診もあり、仕事をしている人や子育て中の人でも受けやすい日を設けています。



かかりつけ歯科医や自宅で

フッ化物塗布・フッ化物洗口を!!

市では、1歳6か月児・3歳児健診時にフッ化物（フッ素）塗布を行っています。また子どもだけでなく、大人もフッ化物塗布や洗口を行うことで、むし歯予防の効果が期待できます。ご家族でかかりつけ歯科医でのフッ化物塗布や自宅でのフッ化物洗口をして、むし歯の予防に心がけましょう。

フッ化物とは？

自然界に広く存在する物質で、魚や海藻、緑茶やミカンなど、私たちがふだん食べているものにも含まれている天然の環境物質です。

フッ化物応用の有効性と安全性は、WHO（世界保健機関）で認められています。

フッ化物のはたらき

① 再石灰化を促進します

食べ物が口に入ると、口の中では絶えず脱灰（歯の表面が溶けること）と再石灰化（唾液の成分で元に戻ることを繰り返しています）が、フッ化物は再石灰化を促進します。



② 歯質を強化します

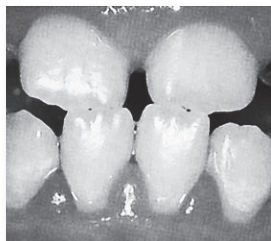
歯の表面を酸に溶けにくい性質に修復します。

③ プラーク（歯垢）中の酸の抑制をします

むし歯の予防には、甘いおやつやの制限や食生活を整えること、正しい歯みがき習慣に加えて、フッ化物を利用することが効果的です。1歳6か月児・3歳児健診時に、フッ化物塗布を実施していますが、加えて、かかりつけ歯科医でフッ化物塗布や、フッ化物による洗口の処方をしてもらい、自宅で洗口をすることで、よりむし歯の予防につながります。



〈脱灰〉



〈再石灰化〉

注意

○ 歯科医院を受診するときは、事前に予約をしてください。

○ フッ化物塗布やフッ化物の処方、自由診療のため、歯科医院によって費用が違います。詳しい費用については、各歯科医院にお問い合わせください。



かかりつけ歯科医でフッ化物塗布を定期的に実施している、川上理緒ちゃんのお母さんに聞きました！

Q：3か月に1回、フッ化物塗布をしていますが、感想は？

A：定期的にかかりつけ歯科医院でフッ化物塗布をすることは、むし歯がないことや、きちんと磨けているかという確認もできて安心です。上手な歯の磨き方も教えてもらっています。

Q：フッ化物塗布のほかに、むし歯予防のために気をつけていることは？

A：おやつの時間を決めています。私も甘いものが好きですが、子どもの前ではお菓子を食べないようにしています。



川上理緒ちゃん

問い合わせ

健康対策課

☎(64)8994 FAX(64)7172

✉ ho-kenkou@div.city.fuji.

shizuoka.jp

6月1日は「景観の日」です

平成17年の「景観法」施行の日
に合わせ、毎年6月1日は「景
観の日」と定められました。

市は、平成21年に「富士市景
観計画」及び「富士市景観条例」
を定め、富士山の眺望をはじめ
とした良好な景観を守り、育て、
そして将来に残していけるよう、
市民・事業者の皆さんとともに
さまざまな取り組みを進めてい
ます。



大規模建築物などの建築には事前
に届け出を

良好な景観の形成を図るため、大
規模な建築物などを建築する際には、
事前に届け出が必要です。

※届け出対象になる建築物などは、
景観計画に定める「色彩基準」及
び「景観形成の指針」の規制対象
になります。事前に、建築指導課
(市役所7階)で相談を行い、届
出書を提出してください。

届け出対象となる建築物など

延べ面積が1000平方メートル
以上、または、高さが15メートル以
上(用途地域が定まっている地域
については高さ10メートル以上)の
建築物及び工作物の新築・増築・外
観の5分の1以上の色彩変更など

問い合わせ／建築指導課

☎(05)26006 ㉔(05)27773

✉ kentiku@div.city.fuji.shizuoka.jp

ご協力をお願いします！

在宅高齢者

実態調査

市は、毎年7月1日を基準日と
して、高齢者世帯などを対象に、
世帯状況の調査を行っています。

対象

①ひとり暮らし

満70歳以上のひとり暮らしの人

②高齢者世帯(高齢者のみの世帯)

満70歳以上の高齢者のみで構成され
る世帯

③高齢者世帯に準ずる世帯

満70歳以上の高齢者と、重度障害者
や18歳未満の子のみで構成される世
帯

④一般世帯の寝たきり・認知症高齢者

①③以外で、一般世帯(70歳未満
の人を含む世帯)に属する寝たきり
または認知症の高齢者

⑤その他

①④以外で、一般世帯に属する高
齢者のうち、特に見守りが必要と思
われる高齢者

調査員

担当地区の民生委員・児童委員に調
査をしていただきます。

調査方法・内容

対象者の自宅に訪問し、身体状況や
健康状態、緊急時の連絡先、日常生活
で困っていることなどを聞きします。

調査結果を生かします

調査を通して、支援を必要としてい
る人を確実に把握し、地域包括支援セ
ンター職員による訪問・見守りや、在
宅福祉サービス・介護保険サービスの
利用につなげます。

また、調査結果は、「災害時要援護者
名簿」の作成や、火災予防運動の際の
「防火診断対象者」の把握に活用します。



問い合わせ／高齢者介護支援課

☎(05)2741 ㉔(05)26020

4月のできごと

緑あふれるまちを目指して

第89回緑と花の百科展

4月10日 中央公園

草花などの販売や園芸の講習会などを通じ、まちが緑で彩られることを目指して、春と秋の年2回開催されています。

当日は朝早くから多くの人が訪れ、市民の花「バラ」の無料配布には長蛇の列ができました。また、即売会では来場者が花の苗や鉢植えをじっくりと見比べたり、販売者のアドバイスを聞いたりして花の苗などを購入していました。

このほか、花木オークションや寄せ植え実演会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲花の苗を見比べる来場者
▲バラの無料配布

市内初の公立「認定こども園」が誕生

松野こども園落成式

4月23日 松野こども園

松野地区の富士川第二幼稚園と松千代保育園の機能を統合し、公立としては市内初となる「幼保連携型認定こども園」が開園しました。落成式は真新しい園舎の中で行われ、関係者の挨拶のほか、年長児によるお礼の言葉が述べられました。また、アトラクションでは園児が元気いっぱい歌声を披露しました。

園内には子育て支援センターが併設されており、教育・保育の場だけではなく、子育て親子の交流の場としての活用も期待されます。



▲園舎の外観
年長児による歌の披露▶

富士山へ帰るかぐや姫伝説を展示

富士山かぐや姫ミュージアム落成記念式典

4月29日 市立博物館

世界で唯一、富士山へ帰るかぐや姫伝説に焦点を当てた博物館として、市立博物館がリニューアルオープンしました。

式典では、富士山遺愛愛好会による木遣りや、富士市少年少女合唱団による、ミュージアムのテーマソング「富士の女神のかぐや姫」の合唱が初披露されました。

式典終了後には一般公開が行われ、開館を心待ちにしていた大勢の市民が来場。生まれ変わったミュージアムを、ゆつくりと観賞していました。



▲展示を見学する来場者
テーマソングの初披露▶

看護学校等進路説明・相談会 (無料)

保健医療課 ☎55-2739

と き／7月2日(土) 13:00～16:00
 ところ／プラサヴェルデ (沼津市)
 対 象／高校生、看護職資格取得を
 考えている学生・社会人
 定 員／300人程度
 ※申込方法など詳しくは、静岡県ナ
 スセンター (☎054-202-1761) へ。
 HP <http://www.shizuoka-na.jp>

6月 移動図書館ふじ号の巡回日程

中央図書館 ☎51-4946

日	場所と貸し出し開始時刻
1・15日(水)	駿河台団地 (1日の14:15のみ) 富士見台市営住宅集会所前 (15:00)
2・16日(木)	滝戸団地内 (14:00) 岩本山団地集会所前 (15:00)
3・17日(金)	セブンイレブン中里店駐車場 (10:00) マックスバリュ富士江尾店駐車場 (11:00) 加島の郷 (3日の14:15のみ) 四丁河原南公会堂駐車場 (15:00)
4・18日(土)	鈴川中町フードランド前 (10:00) 松野まちづくりセンター (18日の14:00のみ)
7・21日(火)	ハックドラッグ川成島店第2駐車場 (14:00) JA富士市堅堀支店駐車場 (15:00)
9・23日(木)	歴史民俗資料館駐車場 (15:00)
11・25日(土)	しらすの八幡加工センター駐車場 (10:00) ききょうの郷駐車場 (11日の14:00のみ) 富士南まちづくりセンター (15:00)
22日(水)	青葉台まちづくりセンター (15:00)

休館日／6・13・20・24・27日
 ※都合により中止・変更する場合があります。

募 集

公共の空き地でコスモスの 里づくりをしてみませんか

みどりの課 ☎55-2793

花いっぱい事業の一環として、コ
 スモスの種を無料で配布します。
 申し込み／6月8日(水) (必着) まで
 に、はがきまたはFAXに住所、氏
 名、電話番号、種をまく場所、面
 積を記入し、〒417-8601 富士市
 役所みどりの課へ ☎53-2772

お詫びと訂正

広報ふじ5月5日号の11ページ
 に掲載の「キズナ無限∞の島」研
 修生募集について、問い合わせ先
 の記載がありませんでした。
 問い合わせ／社会教育課
 ☎55-0560

不動産相談会 (無料)

市民安全課 ☎55-2750

と き／6月15日(水) 13:30～15:00
 ところ／ロゼシアター第3会議室
 申し込み／当日直接会場へ
 問い合わせ／(公社) 全日本不動産
 協会静岡県本部 ☎054-285-1208

エコアクション21 自治体イニ シアティブ・プログラム説明会

環境総務課 ☎55-2902

と き／6月17日(金) 14:00～15:30
 ところ／富士商工会議所4階会議室
 内 容／企業がエコアクション21を
 取得するメリットや、認証取得に
 向けて、無料のコンサルティング
 が受けられるプログラムの説明
 定 員／40人 (先着順)
 申し込み／事前に、申込用紙 (環境
 総務課で配布、市ウェブサイトで
 ダウンロード可) に必要事項を記
 入し、郵送またはFAX・Eメール
 で、〒417-8601 富士市役所環境
 総務課へ ☎51-0522
 E ka-kankyousoumu@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市議会 6月定例会

ぜひ傍聴にお越しください。

と き／6月13日(月)～(予定)
 ところ／本会議 10階議場傍聴席
 委員会 9階各委員会室
 ※詳しくは、電話または市ウェブサ
 イトで。議会事務局 ☎55-2878

「祝富士山婚」参加者

観光課 富士山・シティプロモーション推進室
 ☎55-2958

シティプロモーションに取り組
 む市民団体「オール富士さん！」が
 行う、「富士山世界遺産登録3周年
 記念事業「かがやけ富士山」の中
 で、「祝富士山婚」を実施します。
 ことし結婚23年目を迎えるご夫
 婦を「富士山婚」としてお祝いし、
 「富士山婚」証明書と記念品を贈呈
 します(富士山:223=2人で23年)。
 と き／6月19日(日) 10:00～15:00
 ところ／市役所2階市民ホール
 対 象／市内在住または在勤で、
 平成5年1月1日～12月31日に
 結婚した夫婦

申し込み／6月10日(金)までに、電
 話またはFAX・Eメールで「か
 がやけ富士山」事務局へ
 ☎38-0088 ☎39-0057
 E info@ad-ism.com

お知らせ



献血にご協力を

福祉総務課 ☎55-2757

6月の献血

日	場 所	時 間
2日(木)	市役所駐車場	9:30～16:00 (昼休み12:00～13:15)
12日(日)	ジャンボエンチャー 富士店駐車場	
16日(木)	市役所駐車場	
26日(日)	ピアゴ中里店	

児童手当の現況届を 提出してください

こども家庭課 ☎55-2738

児童手当を受給している人は、毎
 年6月に、養育の状況や前年の所得
 などについて届け出る必要があります。
 届出用紙と案内書類を6月14日
 (火)に発送します。ご確認の上、証明
 書などの必要書類もあわせて提出し
 てください。

提出方法／同封の返信用封筒で返送
 提出期限／6月30日(木) (消印有効)

※児童手当の6月期分(2～5月分)
 を6月10日(金)に受給者の口座に振
 り込みます。ご確認ください。

すみれ相談会・すみれの会(無料)

健康対策課 ☎64-8993

家族や友人など、大切な人を自死
 で亡くした人のための、面談相談・
 遺族の集いがあります。

①面談相談「すみれ相談」

と き	と ころ
6月15日(水)	富士健康福祉センター
7月6日(水)	静岡県精神保健福祉セン ター (静岡市駿河区)

②自死遺族の集い「すみれの会」

と き	と ころ
偶数月第2水曜日・ 奇数月第3土曜日 13:30～15:30 (受付13:00～)	ぬまづ健康福祉 プラザ (沼津市)

※7月は第4土曜日、8月は第1水
 曜日に開催。

申し込み／①は要予約、②は当日直
 接会場へ

※①の申し込み、①②の問い合わせ
 は、静岡県精神保健福祉センターへ。

☎・☎054-286-9245

ひざ痛・腰痛予防教室

高齢者介護支援課 ☎55-2951
 と き／6月30日～10月6日の木曜日 13:30～15:00 計10回
 ところ／岩松まちづくりセンター
 内 容／体操、体成分測定など
 ※初回は栄養・歯の健康講話。
 対 象／ひざ痛・腰痛が気になる65歳以上の人(医療機関受診中の人)は、主治医から運動実施の許可が必要)
 定 員／30人程度(応募者多数の場合抽せん)
 受講料／570円(任意スポーツ保険加入を希望する人は別途1,220円)
 持ち物／一人用マット、飲み物など
 申し込み／6月7～14日(土・日曜日は除く)の8:30～17:15に、電話で高齢者介護支援課へ

「^{そまひと}杣人の育成」
チェーンソー作業特別講習会

林政課 ☎55-2783
 と き／6月16日(木)・17日(金)の2日間 8:40～17:20
 ところ／ふもとつばら(富士宮市麓156)
 内 容／林材業労災防止協会主催の伐木等業務特別教育の参加者への補助など
 対 象／市内在住・在勤の森林所有者または林業に興味のある人
 定 員／8人(応募者多数の場合抽せん)
 参加費／1万円(受講料1万8,360円のうち8,360円を市が補助)
 持ち物／チェーンソー、目立て工具、筆記用具、昼食
 申し込み／5月23日～6月3日に、市ウェブサイトで電子申請するか、直接または電話で林政課へ

第50回 富士市展

文化振興課 ☎55-2874

展示期間／

①書道の部 6月16～19日
 ②写真・工芸の部 6月30日～7月3日
 ③絵画・彫刻の部 7月14～17日
 各10:00～19:00(各最終日は16:00まで)
 ところ／ロゼシアター展示室
 ※来場者の投票により記念賞を決定します。

★作品募集

出品料／1,000円(1部門につき)

出品方法／①6月13日、②6月27日、

③7月11日の各月曜日 10:00～19:00

に作品と出品料を持参し、会場へ
 ※詳しくは、市内公共施設で配布する募集要項をごらんください。

地域包括支援センター職員

高齢者介護支援課 ☎55-2951
 勤務地／鷹岡地域包括支援センター(久沢475-1)
 募集職種／保健師または経験のある看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士のいずれかの資格を持つ人
 募集人数／1人
 勤務時間／月～金曜日 8:30～17:30
 申し込み・問い合わせ／6月20日(月)までに、電話で高齢者介護支援課へ

ホストファミリー

多文化・男女共同参画課国際交流室 ☎55-2704
 中国浙江省嘉興市と友好都市提携を結んでいることから、例年ホームステイを実施しています。
 内 容／7月下旬に、2泊3日で嘉興第一中学校の学生をホストファミリーとして受け入れる
 対 象／ホームステイ受け入れに興味のある家庭
 申し込み／随時受け付けています。希望者は、家族構成などの登録をする必要があります。詳しくは、直接または電話で国際交流室へ

講座・教室

健康ふじ21推進地区講演会(無料)

健康対策課 ☎64-8993

①油でやせる!?油についてのウソ・ホント
 講 師／健康対策課管理栄養士

と き	と ころ
6月18日(土) 10:00～11:30	天間まちづくりセンター
6月28日(火) 19:00～20:30	吉永まちづくりセンター

②からだの健康は歯と歯ぐきから
 講 師／渡井敏章さん(歯科医師)

と き	と ころ
6月30日(木) 19:00～21:00	富士南まちづくりセンター

※歯ブラシのプレゼントあり。

日曜・夜間納税相談

6月5日(日) 9:00～16:00

6月15日(水) 17:15～19:00

収納課 ☎55-2730

自衛隊広報用ポスター
掲示場所の提供者

市民課 ☎55-2746

自衛隊の広報用ポスターの掲示場所の提供者を募集します。

募集期間／随時

※申込方法など詳しくは、電話で自衛隊富士地域事務所(☎51-1719)へ。

富士市景観審議会委員

建築指導課 ☎55-2909

平成21年度に策定した「富士市景観計画」に基づき、良好な景観づくりの取り組みについて審議するため、委員の一部を公募します。

任 期／7月21日～平成30年7月20日(会議は平日の昼間に年2回程度)

応募資格／市内在住で満18歳以上の人

定 員／若干人(書類選考)

報 酬／会議1回につき7,000円

申し込み／6月17日(金)(必着)まで

に、応募用紙(建築指導課で配布、市ウェブサイトでダウンロード可)に必要な事項を記入し、富士市の景観・屋外広告物に関する意見(400字程度)を添えて、直接または郵送・FAX・Eメールで、〒417-8601 富士市役所建築指導課へ

☎53-2773

✉kentiku@div.city.fuji.shizuoka.jp

市民協働事業提案制度

市民協働課 ☎55-2701

市民協働事業提案制度は、市が事業実施に当たり抱えている課題を公開し、それに対する提案を受け付けて、提案者に公共的な課題の担い手として事業を実施していただくための制度です。

内 容／採択した事業は、市からの委託事業として提案者が実施(一つの提案につき、最長3年間が委託期間)

対 象／市内に拠点がある設立1年以上の団体(団体の定款や規約、会則などの定めがあり、構成員が5人以上であること)

募集期間／7月1日～8月31日

※募集する課題や応募資格など詳しくは、募集要領(6月13日(月)から市民協働課で配布、市ウェブサイトダウンロード可)をごらんください。

こころの健康講座（無料） ～統合失調症と活用できる社会資源～

障害福祉課 ☎55-2761
と き／① 6月29日② 7月27日の各水曜日 13:30～16:00
ところ／富士宮市保健センター 2階ホール
内 容／講話 ①「統合失調症の経過と治療方法」など ②「精神保健福祉に関する社会資源」など
※申込方法など詳しくは、富士健康福祉センター福祉課(☎65-2155)へ。

外国人に教えるための 日本語ボランティア入門講座

多文化・男女共同参画課国際交流室 ☎55-2704
と き／7月6日～9月7日の毎週水曜日 19:00～20:30 計10回
ところ／富士市交流プラザ会議室 2
対 象／外国人に日本語を教えたい人
定 員／15人(応募者多数の場合抽せん)
受講料／1,800円
申し込み・問い合わせ／6月22日(水)までに、直接または電話・FAX・Eメールで、富士市国際交流ラウンジFILS(富士市交流プラザ内)へ
☎64-6400 ☎64-6404
✉fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士マリンプール オープン!

期 間／6月25日～9月4日
開場時間／9:00～17:00
料 金／大人500円、小学生・中学生300円、幼児100円
※6月30日、7月7・14日、9月1日の各木曜日は休場します。また、悪天候の場合、休場になる場合があります。

〈セレモニー参加者〉

と き／6月25日(土) 9:00～9:20
ところ／子どもプール前
内 容／ストレートスライダーの利用再開と、水遊具初披露のためのセレモニーに参加。当日の入場料金が無料。
定 員／親子50組(市内在住で、子どもは小学生以下。保護者1人につき子ども3人まで、応募者多数の場合抽せん)
申し込み／6月14日(火)(必着)までに、はがきまたはFAXに、住所、保護者氏名、参加人数、電話番号を記入し、〒417-0843 田中新田275-9 富士マリンプールへ
りぷす富士(富士マリンプール)
☎33-3400 ☎33-4055

看護師など再就業準備講習会（無料）

保健医療課 ☎55-2739
看護師などの資格を持ち、現在就業していない人に、最近の看護現場の様子を紹介や、看護の基礎技術の講習を行います。
と き／7月13～15日の3日間 9:00～16:00
ところ／富士宮市立病院
対 象／看護の仕事をしていない看護職免許保有者
申し込み・問い合わせ／7月4日(月)までに、電話またはFAX・Eメールで、静岡県ナースセンター東部支所へ
☎・☎055-920-2088
✉numazu@nurse-center.net

6月の市役所休日開庁日

開庁日／6月5日(日) 9:00～16:00

開庁窓口／

★市民課 (☎55-2747)

★収納課 (☎55-2730)

★国保年金課 (☎55-2751)

講座・教室

託児ボランティア養成講座 （無料）

ボランティアセンター ☎64-7100
と き／7月2・9日の各土曜日 10:00～12:00 計2回
ところ／フィナンセ東館3階ボランティアルーム
内 容／託児ボランティア、子どもとの接し方や遊び方について
対 象／託児ボランティア活動に関心がある人
定 員／20人(応募者多数の場合抽せん)
申し込み／6月27日(月)までに、電話またはFAX・Eメールでボランティアセンターへ
☎64-9040
✉vc@fujishishakyo.com

6月の納期

市民税・県民税 第1期

6月15～30日

収納課 ☎55-2730

りぷす富士 各種教室

市立富士川体育館 ☎81-2111 市立富士体育館 ☎53-0900 富士市交流プラザ ☎65-5523

教 室	申込先・会場	受付日
①中高年のための筋力トレーニング②リラック スヨガ③女性のためのメノポーズケア	市立富士川体育館	5月31日～ 6月6日
①びんしゃん健康体操②ズンパフィットネス③ 美姿UPフィットネス④フィットネスボール体 操⑤ほのぼの健康体操	市立富士体育館 (⑤の会場は、富士 柔剣道場)	①～④ 6月5～ 11日 ⑤ 6月15日(水)
①温巡 ^{おんじゆ} ヨガエクササイズ②美活 ^{びかつ} コアトレエクサ サイズ③体幹トレエクササイズ④カラダ絞りま 専科エクササイズ⑤ベーシックヨガ⑥フラダン ス教室	富士市交流プラザ	6月6～12日

※申込方法、受講料など詳しくは、りぷす富士ウェブサイトをごらんになるか、各申込先へ。
HP <http://www.fuji-kousya.jp>

認知症・介護予防等情報

ことし4月から、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業） が始まりました。

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、ひとり暮らしの高齢者、高齢者夫婦のみの世帯、認知症の高齢者が増加していくことが予想されます。高齢者が住みなれた地域で生活をするためには、介護保険や行政サービスに加え、ボランティアによる支援や地域の助け合いなど、地域全体で高齢者を支えていくことが必要となります。また、高齢者自身も、自分なりの「役

割」や「生きがい」を持つなど、介護予防に努めることが大切です。総合事業は、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられるよう、介護予防を推進し、高齢者の多様なニーズに応じた多様な担い手によるサービスの提供を図るとともに、助け合いの地域づくりを目指すものです。

【問い合わせ】

高齢者介護支援課 ☎55-2951

中高生ビブリオバトル（無料） ～お薦め本の魅力を伝え合い選ぼう～

中央図書館 ☎51-4946

ビブリオバトルは、お気に入りの本を紹介しあい、一番読みたくなった「チャンプ本」を投票で決めるゲームです。

と き／7月18日(月) **海の日**

10:00～11:00 (本はともだち子どもまつり開催日)

ところ／中央図書館

対 象／発表者：市内在住の中学生、高校生 参加者（投票者）：中学生以上

定 員／発表者5人、参加者30人

申し込み／6月1～30日に、直接または電話・FAX・Eメールで中央図書館へ ☎51-7135

library@div.city.fuji.shizuoka.jp

外国人児童生徒保護者のための 高校進学ガイダンス（無料）

多文化・男女共同参画国際交流室 ☎55-2704

と き／6月18日(土) 13:30～15:00

ところ／富士市交流プラザ会議室1

内 容／高校の種類や入学に必要な費用の説明、高校生や保護者の話を聞きます。子どもが小学生のうちから聞いておくとよい話です。

(ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・フィリピン語の通訳がつきます)

対 象／高校進学を予定している児童・生徒と保護者

申し込み・問い合わせ／6月16日(木)までに、直接または電話で、国際交流ラウンジFILS(富士市交流プラザ内)へ ☎64-6400

富士警察署管内事件・事故

空き巣、忍び込みの被害を防止するため、外出時、就寝時には、必ず戸締りを確認し、補助ロックなどを活用しましょう。

事件情報 (3月末現在)

	年間累計	昨年度
全刑法犯罪	373件	- 96件
忍び込み	5件	+ 1件
空き巣	13件	+ 9件
オートバイ盗	15件	- 94件

事故情報 (4月末現在)

	年間累計	昨年度
件数	675件	- 124件
死者	1人	- 4人
負傷者	887人	- 155人

安全をつなげて広げて 事故ゼロへ

甲種防火管理新規講習

消防本部予防課 ☎55-2859

と き／6月23日(木)・24日(金)

各9:30～16:00 計2回

ところ／消防防災庁舎7階大会議室 定 員／130人(先着順)

受講料／5,000円(富士市防火協会加入事業所は4,000円)

申し込み／5月23日～6月10日(土・日曜日は除く)に、受講申請書(消防本部予防課で配布、市ウェブサイトでダウンロード可)に必要事項を記入し、写真1枚(縦4センチメートル×横3センチメートル)と受講料を添えて、消防本部予防課へ

富士市立高校ラジオ出演

「ICHIKO-WAVE」

富士市立高校 ☎34-1024

ことし4月から、Radio-fの番組「2D」内で、高校生や教師が作成したラジオ番組「ICHIKO-WAVE」を放送しています。市立高校の今をみずからの声でお伝えします。

放送日時／毎月最終の水曜日

17:40～約15分間(「2D」は毎週水曜日16:30～19:00放送)

富士市DIGセミナー（無料） ～みんなで防災について話し合おう～

防災危機管理課 ☎55-2715

災害発生時の状況をイメージし、熊本地震でも注目された家庭内の地震対策や、災害時にとるべき行動について話し合う「災害図上訓練DIG」のセミナーです。

①＜地震編＞地震の揺れのイメージづくりと防災の原点確認・南海トラフ巨大地震の全体像の確認

と き／9月17日、平成29年1月21日 各土曜日のいずれか1日 13:30～16:30

②＜地震編＞災害に対する地域リスクの分析とハザードマップづくり

と き／8月27日、10月15日、平成29年2月18日 各土曜日のいずれか1日 13:30～16:30

③土砂災害から身を守るために必要なことは？

と き／6月18日(土) 13:30～16:30
・・・①～③とも・・・

ところ／消防防災庁舎3階作戦指令室 定 員／50人(先着順)

申し込み／各開催日の1週間前までに、電話またはFAXに、住所、氏名、電話番号を記入し、防災危機管理課へ ☎51-2040

熊本地震による被災者(医療機関・介護施設)の皆さんへ 保険診療・介護保険サービス・公費負担医療・手当について

●保険診療・介護保険サービス 熊本地震による震災に伴い、保険医療機関などに保険証を提示できない場合には、保険証がなくても保険診療を受けることができます。また、要介護(要支援)認定を受けている人が、介護保険の事業所などに保険証を提示できない場合には、保険証がなくても介護保険のサービスを受けることができます。このほか、国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、介護保険料、介護保険サービス利用料の減免が受けられる場合があります。詳しくは、下記にお問い合わせください。

国民健康保険、後期高齢者医療制度	国保年金課 ☎55-2752
介護保険	介護保険課 ☎55-2766

●公費負担医療 熊本地震による震災に伴い、関連書類等の紛失等で、公費負担医療を受けるために必要な手続きをとることができない場合は、下記にお問い合わせください。

被爆者健康手帳、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療、特定医療費、特定疾患、肝炎治療、小児慢性特定疾病医療費	富士保健所 ☎65-2151
生活保護、中国残留邦人等	福祉総務課 ☎55-2758
自立支援医療	障害福祉課 ☎55-2759

●手当 熊本地震の被災者等に関する手当の認定等については、下記にお問い合わせください。

児童手当、児童扶養手当	こども家庭課 ☎55-2738
特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当	障害福祉課 ☎55-2759



6月の カレンダー

JUNE [水無月]

- 男女雇用機会均等月間
- 農業危害防止運動月間(～8月)
- まちづくり月間 ●土砂災害防止月間
- 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
- 食育月間 ●環境月間
- 社会福祉協議会会員募集月間

6月 富士山かぐや姫 ミュージアム

- オープン記念展「富士のある風景」～6月19日
- 博物館の日 5日
- チャレンジ!! 陶芸 11・25日
- 癒しのおながく会 19日
- ※休館日 6・13・20・27日



博物館の日から
「折染め団扇」

1 水	経済センサス-活動調査期日 富士ニュース杯グラウンド・ゴルフ大会(富士川緑地) 結婚相談★ 水道週間～7日 [景観の日]
2 木	献血●→P12 労務相談● 人権相談★
3 金	
4 土	歯の健康フェスティバル★～5日 宮島新田観音尊祭典 歯と口の健康週間～10日
5 日	土砂災害に対する防災訓練(間門) 県民スポーツ・レクリエーション祭オリエンテーリング (富士山こどもの国) 富士市立高校南稜祭(文化の部) 市民課など窓口開設●→P14 日曜納税相談●→P13 [環境の日]
6 月	離乳食講習会・かみかみ期★
7 火	すくすく赤ちゃん講座★
8 水	結婚相談★
9 木	1歳6か月児健診★ 人権相談●
10 金	3歳児健診★ 行政相談● [入梅]
11 土	吉原祇園祭～12日 吉永北地区風の宮まつり(桑崎)
12 日	竹の子まつり(富士駅南まちづくりセンター) 献血→P12 結婚相談★ 全国危険物安全週間～19日
13 月	離乳食講習会・ごっくん期★
14 火	普通救命講習■ まちの保健室● すくすく赤ちゃん講座★
15 水	不動産相談会(ロゼシアター)→P12 夜間納税相談●→P13 特別徴収(年金からの天引き)6月分【市民税・県民税、 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料】 結婚相談★ お母さんお父さん教室★ 子どもの安全を守る市民行動の日

16 木	富士市展 書道(ロゼシアター)～19日→P13 献血●→P12 1歳6か月児健診★ 労務相談● 人権相談★
17 金	3歳児健診★
18 土	健康ふじ21推進地区講演会(天間まちづくりセン ター)→P13 認知症サポーター養成講座★
19 日	富士山世界遺産登録3周年記念イベント「オール市民! かがやけ富士山」●→P12 富士本町「軽トラ市」(富士本町商店街) アスクラロ沼津ホームゲーム(富士総合運動公園) 交通安全都市宣言日 食育の日 麻薬・覚せい剤撲滅の日 [父の日]
20 月	離乳食講習会・ぱくぱく期★ ロゼシアター臨時休館日
21 火	すくすく赤ちゃん講座★ 不動産に関する相談● ゆとり創造都市宣言日 [夏至]
22 水	結婚相談★ お母さんお父さん教室★ 富士山世界遺産登録決定の日
23 木	1歳6か月児健診★ 人権相談● 男女共同参画週間～29日 ふじのくに地産地消の日
24 金	3歳児健診★ 行政相談●
25 土	富士マリニプールオープン～9月4日→P14
26 日	富士山しらす街道フェア(田子の浦漁業協同組合) 県民スポーツ・レクリエーション祭スポーツチャンバラ (富士総合運動公園体育館) 岩本八面神社夏越大祓い祭 原田公園まつり 結婚相談★
27 月	夜間納税相談●
28 火	健康ふじ21推進地区講演会(吉永まちづくりセン ター)→P13 普通救命講習■
29 水	結婚相談★ 離乳食講習会・ごっくん期★
30 木	富士市展 写真・工芸(ロゼシアター)～7月3日 →P13 健康ふじ21推進地区講演会(富士南ま ちづくりセンター)→P13 市民税・県民税第1期納期限→P14

※場所記号 ●…市役所 ■…消防防災庁舎 ★…フィランセ

こちら編集室

市民楽団で活動している私は、先日、年に1回開催している定期演奏会に出演しました。学生時代から続けている音楽に現在も携われていることに喜びを感じますが、演奏会が近づくと、毎週末が練習に費やされ、正直、ゆっくり過ごしたいと思うと

きもあります。そんな私の原動力になるのが、演奏を聞いてくれた人の「楽しかった」の一言です。人に何かを伝えることは、広報業務も同じです。多くの人にいろいろなことを感じてもらえる広報業務ができるよう、これからも頑張ります。(O)

人口 256,126人 (前月比 -445)
男 126,577人 (-180)
女 129,549人 (-265)
世帯 102,634世帯(+211) 4月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123 FAX 0545-51-1456

お問い合わせ ☎
富士市コールセンター
おしえて
コパルふじ
53-1111
[受付時間]
8:30～18:00
土・日曜日、祝日も受け
付けます(年末年始除く)

ウェブサイト <http://fujishi.jp> ※twitter・Facebook・YouTubeでも情報発信中。